

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那の井月さんの英訳化と国際的発信事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 井上井月顕彰会 東京事務所 03-3341-6975
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,350,139 円 (うち支援金 : 1,650,000 円)

事業内容

1) 新編「伊那の井月さん」の英語版を、俳句の英語訳本「隠沼」(A Hidden Pond)でアメリカ俳句協会 1997 翻訳賞を受賞した、国際俳句交流協会会員のデイヴィッドバーレイ氏に依頼。矢島恵 (俳誌「岳」編集同人,三浦庸子(映画「ほかいびと」の制作人)との意見交換、推敲を経て完成させた。(3月10日初版発行 5,000部)

2) この成果を今後どのように活かすかをテーマに3/27(土)13:30-16:30Zoom による公開シンポジウムを開催。司会は北村皆雄(井上井月顕彰会会長/『伊那の井月さん』著者)と三浦庸子。パネラー:D.バーレイ,矢島恵,N.J.ウィルソン(箕輪中部小ALT),根橋ほなみ(伊那東部中教頭),春日範行(辰野町立中教諭),春日利比古(佐久長聖高校教諭)の参加で行われた。

事業効果

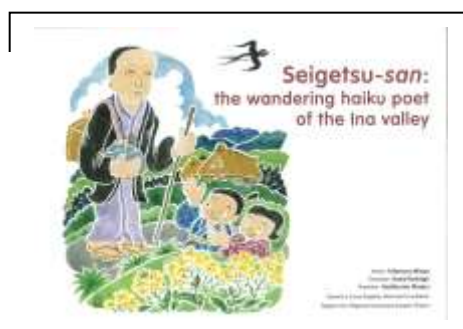
1) 地元の小・中・高の「英語のサブリーダーとしてどのように利用することができるか」のシンポジウムでは、小3・4年生のALTであるウィルソン先生：季語からそのイメージをまず絵に描き、グループ毎に完成させて、今度はその絵からイメージしたことを英語で俳句にする。つまり、イメージと英語を直結して覚える教え方をしてみたい。さらに井月さんの句の中から季語を見つけたりと、楽しく学習できると思う。

中学校で英語教師の根橋先生：2021年度より教科書 New Horizon で Haiku を作るコーナーがあり、3年生では、英語で4行詩を作らせてもいるので、この副読本は誠にタイミングが良い。積極的に利用したい。

同じく中学校の英語教師の春日範行先生：井月俳句を英語で表現し覚えることで、世界で一番短い詩、俳句文化に誇りを持つようにしたい。

高校教諭の春日利比古先生：高校では井月句だけでなくその歴史的背景井月が時代をどのように生きたかを、故郷に暮らした俳人を身近に感じながら深く学ぶことができるだろう。単に英語の勉強ではない、複合的な学びをもたらすことができる優れた副教材であると思う。との発言を得た。

2) このシンポジウムのリアルタイムでの視聴は25人であったが、その後 YouTube にアップしたので、多くの方たちに視聴いただけていると思う。



【伊那の井月さん英語版】

【目標・ねらい】

- ① 小・中・高校で副読本として利用、井月物語と俳句を英語で学び語れる若い人材を育てる。
- ② 国際俳句交流協会の協力を得て海外へ広く、伊那の俳句文化をアピールする。

※自己評価 【 A 】

【理由】シンポジウム参加の教師諸氏が新年度からの利用に大変積極的であること。外務省経由で150カ国の在外日本大使・領事館の文化広報部に「伊那の井月さん」日英版の配布が実現可能になった。

今後の取り組み

150か国の在外公館に「伊那の井月さん」を置くことで、井月、俳句、伊那への海外からのアプローチ、問い合わせが、今後、徐々に増えることが予想される一方で、井月を「伊那の井月」にとどめるだけでなく、世界中に存在する「放浪の詩人」の系譜の中で捉えなおしてみようとする国際シンポジウムを開催してみたい。

さらに、井月の優れた句を紹介するため、まずは「井月句 100選」の英語本の出版を考えたい。すでに「伊那の井月さん」の翻訳者デイヴィッドパーレイ氏は、この計画が実現するなら、是非また翻訳で参加したいと意欲を示しておられる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある